

平成29年度 第2回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

日 時：平成29年11月24日（金） 15：00 ～ 16：20

場 所：海老名市役所 3階 政策審議室

出席者：委 員 9名〔高橋委員、山川委員、小林委員、河野委員、田口委員、桐生委員、森島委員、前田委員、武井委員〕

事務局 5名〔橋本部長（途中退席）、木村次長、澤田課長、林係長、菊池主査〕

オブザーバー〔健康づくり課 栗野課長、石井係長、木内主査〕

【概 要】

1 開 会

2 あいさつ

【部長あいさつ】

- 本日は、国民健康保険運営協議会にご出席賜り、お礼申し上げます。
- 今回、諮問等は予定していないが、国保を取り巻く状況は、様々な情勢の変化で、ますます難しい運営を迫られている。
- これまで、国や県からの情報をもとに、県と県下市町村で協議等を重ねてきたが、県において、国民健康保険運営方針が示され、市としても、国保財政運営や事務の標準化に向けて、システムの構築をはじめ、様々な調整・準備を行っている。
- また、データヘルス計画については、第1回の運営協議会でいただいたご意見等を反映させた評価結果をご報告する。
- 今後の国保運営にとって、重大な過渡期にあり、遺漏なきよう準備を進めていきたい。
- 委員の皆様方には、活発な議論を行っていただければと思う。

【会長あいさつ】

- 今年度、第2回目の会議となるが、いよいよ国保制度改革について大詰めの時期となってきた。
- 本日の議題は国保制度改革の状況等についての説明や、制度改革に伴う国保運営協議会に関する規則改正等についての説明、そして、データヘルス計画

の評価結果などについても報告が予定されている。

○平成30年度に予定されている国保財政の運営主体を都道府県化するという、重大な制度改革を控え、海老名市の国保の現状を再確認し、国の状況を把握し、今後の大きな改革にスムーズに移行できるよう準備を進めることが重要である。

○これからの国保運営を考えるうえで、この会は、貴重な機会と考えている。各委員のご意見等をいただきながら、その役割を果たしていきたい。ご協力をお願いします。

———— 部長退席 ————

※傍聴人なし※

3 議題（議事進行：田口会長）

（1）国保制度改革について

⇒【議題1 資料1・資料1-1-2別紙・資料1-2】に基づき、事務局：澤田課長より説明。

【質疑等】

・医療給付が増えたら、県の基金で補うのか。

⇒そうであるが、税込減等の対応として、市としても基金は持っている必要がある。

・県の基金はいつからできるのか。

⇒平成30年度の制度改正に合わせて創設される。

（2）神奈川県国民健康保険運営方針について

⇒【議題2 資料2-2】に基づき、事務局：林係長より説明。

【質疑等】なし

（3）国保運営協議会規則改正案について

⇒【議題3 資料3】に基づき、事務局：林係長より説明。

【質疑等】なし

（4）データヘルス計画評価結果について

⇒【議題4 資料4、資料4別紙 別紙】に基づき、事務局：澤田課長より説

明。

・特定健診の受診率について、就業率との関係はどうか。男性より女性の受診率が高いのはそのあたりが影響しているのではないか。

⇒確かに仕事をしていると、受診する時間がないという理由もあると思う。いかに受診意識を高めるかが課題といえる。今後検討したい。

・市では、脳ドック検診は行っていないのか。自分は定期的に検査しているが、市でそういった検診もあれば安心だと思う。

⇒市の検診はない。人間ドックの助成には、脳ドックも対象となるので、利用していただきたい。

・健康寿命の延伸ということが昨今いわれているが、具体的な施策等はあるのか。歯科医師の立場から言えば、飲み込みができない高齢者に嚥下運動は効果的である。奥歯がない人は筋力低下が著しいなどという結果もある。歯は、大切である。歯・口の機能維持、機能低下を予防するため事業等も推進してほしい。

⇒今後の検討課題とさせていただく。

その他

・都道府県化になって、保険税は上がるのか。

⇒県から納付金に見合った標準保険税率というものが示されるが、これを参考に市で保険税率を決めることになる。来年度は、円滑な制度改革導入のため、据え置きの方で考えているが、今後の状況により、慎重に検討していく必要がある。

・都道府県化で何が変わるのか。厚労省のひな形をもとにしたチラシではわかりにくい。もっとわかりやすい市独自のものを作成してもらいたい。

⇒今後、わかりやすい内容のチラシを検討していく。

4 閉会

【副会長あいさつ】

- 本日の会議も、皆様のご協力により滞りなく進めることができました。
- 制度改革後も国民健康保険は国民皆保険の基盤として重要な制度であり、運営協議会の規則改正の話もあったが、その役割もますます重要なものになると考える。
- 今後とも国の動向や社会情勢等を注視し、制度改革について、遺漏なきよう準備を進め、良好な国保運営をされることを期待する。